

## 『ケアマネジメントの未来を拓く研修』に参加して

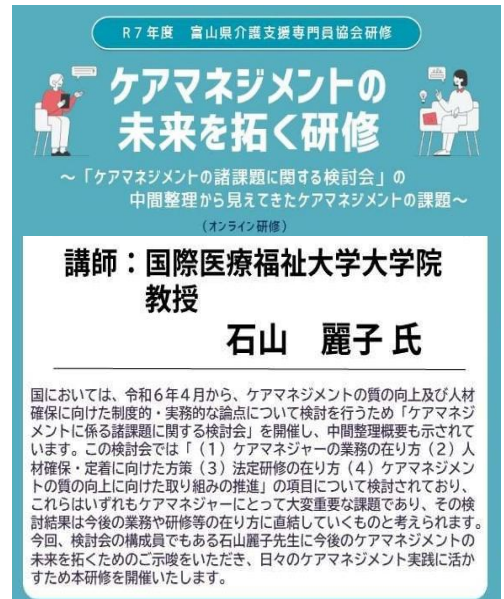
報告者：射水万葉苑本町サポートセンター  
居宅介護支援事業所 石田 由美

令和7年8月8日(金) オンラインにて『ケアマネジメントの未来を拓く研修』が開催されました。

講師の国際医療福祉大学大学院 石山麗子氏から『ケアマネジメントの諸課題に関する検討会』『中間整理から見えてきたケアマネジメントの課題』として厚生労働省の動きや、これからの課題について、分かりやすく講義していただきました。令和6年4月15日ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会では、シャドウワークを含めケアマネジャーの業務が増加する中、“ケアマネジャーが業務に注力できる環境整備が必要”との検討内容が中間報告されていることを学びました。

グループワークでは、『個々のケアマネジャーが経験したシャドウワークは、つついやってしまうことが多いけれども代替となるサービスや社会資源はなかったか』について検討したことにより、新たな発見と視野を広くすることを学びました。

厚生労働省が分類した線引きの通り、“シャドウワークは業務外だから取り組まない”と、きっぱりと線引きするケアマネジャーはいないと思いますが、“突発的、単発的な対応なのか常態的な対応なのか”を見極め、常態化しそうな内容であれば、誰が担当として対応すべきなのか、支援者や自治体、地域包括支援センターの関係者も交えて検討していきたいと思います。



R7年度 富山県介護支援専門員協会研修

### ケアマネジメントの未来を拓く研修

～「ケアマネジメントの諸課題に関する検討会」の中間整理から見えてきたケアマネジメントの課題～  
(オンライン研修)

**講師：国際医療福祉大学大学院 教授 石山 麗子氏**

国においては、令和6年4月から、ケアマネジメントの質の向上及び人材確保に向けた制度的・実務的な論点について検討を行うため「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」を開催し、中間整理概要も示されています。この検討会では「(1) ケアマネジャーの業務の在り方 (2) 人材確保・定着に向けた方策 (3) 法定研修の在り方 (4) ケアマネジメントの質の向上に向けた取り組みの推進」の項目について検討されており、これらはいずれもケアマネジャーにとって大変重要な課題であり、その検討結果は今後の業務や研修等の在り方に直結していくものと考えられます。今回、検討会の構成員でもある石山麗子先生に今後のケアマネジメントの未来を拓くためのご示唆をいただき、日々のケアマネジメント実践に活かすため本研修を開催いたします。